

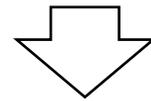
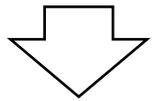
# 医薬品の分類と販売方法について

【現在】

**医療用医薬品**  
(処方薬)  
対面販売  
(省令)

**一般用医薬品**

<b>一類</b> 対面販売 <small>スイッチ直後品目 劇薬</small>	<b>二類</b> 対面販売	<b>三類</b> ネット販売可
---	-------------------	---------------------



【改正後】

**医療用医薬品**  
(処方薬)  
対面販売  
(法律)

**要指導医薬品**  
対面販売

**一般用医薬品**

<b>一類</b> ネット販売可	<b>二類</b> ネット販売可	<b>三類</b> ネット販売可
---------------------	---------------------	---------------------

スイッチ直後品目(原則3年後)



# 指定薬物の所持、使用等の禁止について

○ 指定薬物の乱用を防止するため、指定薬物の所持、使用、購入、譲り受けを禁止する。指定薬物を所持、使用、購入、譲り受けした者は、3年以下の懲役又は300万円以下の罰金を処する。

(※1) 指定薬物：精神毒性（幻覚、中枢神経系の興奮・抑制）を有する蓋然性が高く、人に使用された場合に保健衛生上の危害のおそれがある物質

(※2) 行政機関・大学等の学術研究・試験検査の用途、疾病の治療の用途等の場合は禁止しない。

(※3) 業として販売又は授与の目的での貯蔵、陳列の場合、従来どおり、5年以下の懲役又は500万円以下の罰金とする。

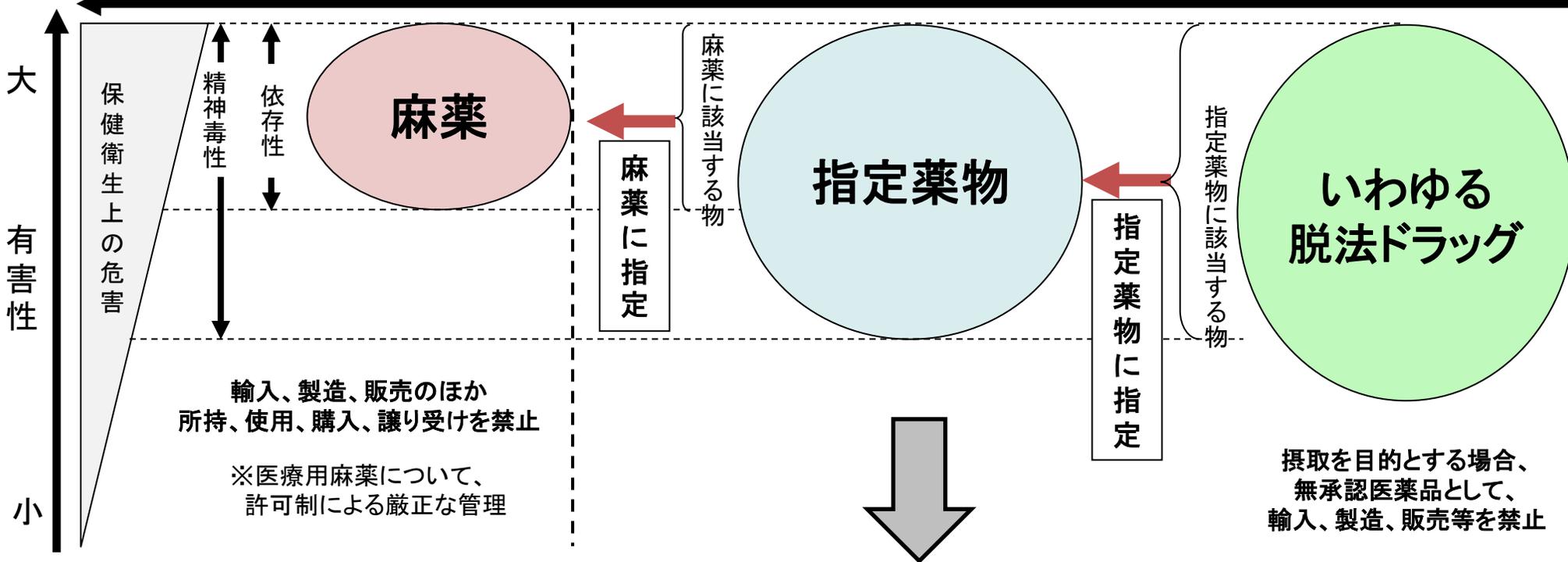
麻薬及び向精神薬取締法による規制

薬事法による規制

有害性立証の程度

大

小



指定薬物について、現行の薬事法では、輸入、製造、販売、授与、販売目的の貯蔵等を禁止している  
今般、新たに、指定薬物の所持、使用、購入、譲り受けを禁止する